

Castles & Cavaliers



Tabletop role-playing game's unnecessary useless knowledge

とても重要な注意事項

書き手の勝手な思い込みや偏見がありますし、誤字脱字が多々あります。また、情報は時々刻々変化していますので、鵜呑みにしないで情報は、必ず確認するようにしてください。書き手がよく読んでいる web site を列記しますが、書き手との関係は、まったくありません。列記しているだけですのでご注意ください。

ちょっとお役に立てれば、幸いと存じます。

テーブルトーク RPG という和製英語を使ってほしくないのです。

RPG って言葉

かなり脱線している内容

computer が登場する以前から、RPG はあった。

一番古い RPG は、有名なところでは、「携帯対戦車グレネード」の意) のアクリニムである。英語では「rocket-propelled grenade (ロケット推進グレネード)」 ということになる。

情報用語としては、Report Program Generator の Report Program Generator のアクリニムである。それは、IBM の AS/400 サーバ向けのプログラミング言語である。ILE (Integrated Language Environment) のオブジェクト指向機能を取り入れた RPG IV が現行である (ILE RPG としても知られている)。最初期の 4GL とされる。RPG はパンチカード時代から現代まで常用され続けてきた数少ない言語の一つである。IBM が RPG を開発したのは 1960 年代のことであった。「Inside AS/400」なんて専門書もありました。

言葉として、role-playing game が登場してまだ、40 年も経過していないのである。

Dungeons & Dragons

とても偏った解説。

ギャリー・ガイガックスとデイブ・アンソーン等によって、1970年代半ばに米国で開発されたボードゲームである。世界で一番初めに発売された役を演じることによって進行するゲームである。マニア向けのゲームであったが、子供たちの失踪や自殺が社会問題となり、有名となった。その為、キリスト教徒からは悪魔のゲームと酷評され、排除されてきたのも事実である。

米国内においては、知名度のあるブランドではあるが、日本国内では、マーケティングや価格などの問題があり、ジャンルをふくめて、未だマニアのものでしかない。

本ゲームによって、インスパイアされて出来たゲームは、Flying Buffalo Inc.社の Tunnels & Trolls, T&T (邦訳あり。デザイナーはケン・セント・アンド氏)。

以前下北沢在住だったという噂のあるロバート・ウッドヘッド氏の興した米国 Sir-Tech 社の Wizardry。Richard Garriott の Origin Systems 社 (通称 OSI) の開発した Ultima。(『ダンジョンズ&ドリーマーズ』リチャード・ギャレオット自伝に経緯が詳細に記述されている。) 米 AVALON HILL 社の TELENGARD 等コンピュータRPGやボードゲームに関係なく多数存在する。また、小説や漫画に映画等多大な影響を

与えている事実を忘れてはならない。漫画『バスタード』の鈴木土下座衛門というモンスターの著作権事件などいろいろありました。

ミニチュアを使ったゲームやウォーゲームが大規模戦闘から個人の白兵戦を主体としたゲームに対象が変化していった時に戦闘以外に変化したとき登場してきたジャンルと言える。(映画『E.T.』の冒頭で子供たちが遊んでいるゲームではあるが、翻訳がとんちんかんなもので誰も覚えていないという代物でもある。)

Tabletop RPGは、見ていて皆目わからないゲームジャンルであること、ルールブックが高価で人と場所の都合が優先し、敷居が高いということで、国内においては、なかなか普及できていない。(逆にすべてをクリアしたのがコンピュータRPGやMMORPGなのである。)

法外なライセンス契約は、そのまま価格に転化され消費者が購入できるような価格ではなくまったく売れないという悪循環に陥る。また、知名度をあげることができた商品とのライセンス交渉の失敗は、単なる安価な商売敵を生み出す結果となった。

雑誌コンプティーク掲載の小説 ロードス島戦記は、当初Dungeons & Dragonsのリプレイとしてスタートしている。結局、著作権許諾がおりなかった都合 開発されたのがソードワールドというゲームである。

同時期に新和（株）から日本語版が発売となったが、失策が重なり、高価ゆえに購入できないというジレンマに陥ったと言える。高額なルールブック、翻訳を担当した大学生への賃金不払い、ライセンシー企業の倒産。結果的にマーケティングの不在と商品が売れないというスパイラルから脱出することはできなかった。翻訳が終わっているものの日の目を見ることができなかった文章が多かったようである。

版元である TSR 社の放漫経営の結果、紆余曲折をへて WOC 社の傘下となり、大幅なリストラを断行し、売れるものを全部売り（映画化の権利、世界設定のライセンスなどから商品のブランドや名称まで）あらたに公開遊戯ライセンスを制定して、現在に至る。

Classic Dungeons & Dragons の系譜

■1974 年

Dungeons & Dragons (original white box edition with three booklets) Men & Magic · Monsters & Treasure · The Underworld & Wilderness Adventures(伝説の白箱セット)



■1977 年

Dungeons & Dragons (2nd version) Basic Set (blue box) (levels 1-3)



■1981 年

Dungeons & Dragons (3rd version) Basic Set (magenta box), Expert Set (light blue box) (levels 4-14) アングラの翻訳和文の手書きコピーが出回ったのは、このころ。

■1983 年

Dungeons & Dragons (4th version) Basic Set (red

box), Expert Set (blue box) , Companion Set (teal box, levels 15-25) 新和の正規日本語版は、この版。

■1984年

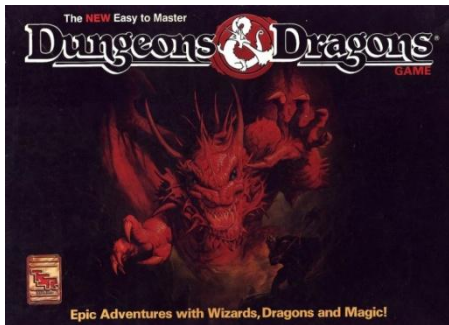
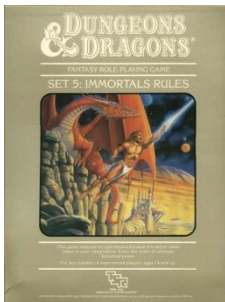
Master Set (black box, levels 26-36) 新和の正規日本語版は、この版。まで。

■1985年

Immortals Set (gold box, levels 36+) 日本語版は、リリースされなかった。

金箱と言われている。

まったく別のゲームシステムって感じである。

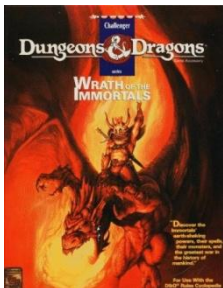


■1991 年

Dungeons & Dragons (5th version) Rules Cyclopedia (levels 1-36) 電撃文庫版は、このルールของサマリーである。

■1992 年

Wrath of the Immortals (levels 36+) 内容としては、Immortals Set にミスタラの独自設定を追加した内容である。ミスタラの独自設定については、雑誌 dragon の連載記事と gaz シリーズになる。連載記事の box set がリリースされているがそれは、AD&D 2ed 用の資料となっている。



これ以後にリリースされているルールブックは、5th version の抜粋でしかない。2000 年以後は、本系統は新 Dungeons & Dragons に統合されてしまう。旧版の各世代ごとの愛好者達は、open license に基づいた retro clone の各ルールブックにシフトしていく。

■2012 年

最新版では、Classic Dungeons & Dragons と現在の Dungeons & Dragons を統合した edition のルールブックがリリースされるようだ。

Dungeons & Dragons の系譜

■1974

Dungeons & Dragons (original white box edition with three booklets) Men & Magic · Monsters & Treasure · The Underworld & Wilderness Adventures
(伝説の白箱セット)

■1977

Advanced Dungeons & Dragons (1st Edition) Monster Manual (December) 基本 体裁はハードカバー。

■1978

Players Handbook (June)

■1979

Dungeon Masters Guide (August) Core rulebooks complete

■1983

Core rulebooks reprinted with new cover art and orange spines

■1985

Unearthed Arcana (a fourth "core" rulebook)

■1989

Advanced Dungeons & Dragons 2nd edition

Player's Handbook, Dungeon Master's Guide,

Monstrous Compendium Replaces Monster Manual

,モンスターマニュアルは、巨大なバイダータイプ。第二版の一部が新和の正規日本語版として、リリースされた。

■1993

Monstrous Manual Replaces Monstrous Compendium

■1995

Advanced Dungeons & Dragons 2nd edition revised

Player's Handbook, Dungeon 、 Master Guide,

Advanced Dungeons & Dragons 2nd edition revised

Player's Options, DM Options

■2000

Dungeons & Dragons 3rd edition (three Core rulebooks)

Player's Handbook ・

Dungeon Master's Guide ・

Monster Manual 従来の Advanced Dungeons & Dragons

のルールを Dungeons & Dragons に名称変更している。大幅

な改訂を行っている。同時期に d20 の二次利用の license が

制定された。その結果、一番利益が少ないが DM には必要で

ある世界設定資料や独自追加ルール等々が各社より刊行され

た。HJ 社より正規日本語版として、リリースされ、サポー

トされている。

■2003

Dungeons & Dragons 3rd edition revised (v3.5) Revised editions of the core rulebooks (compatible with 3.0 via errata) ちなみに Pathfinder Roleplaying Game は、v3.5 ベースのルールです。

■2008

Dungeons & Dragons 4th edition (three Core rulebooks) Player's Handbook ・ Monster Manual ・ Dungeon Master's Guide

■2009

Player's Handbook 2 ・ Monster Manual 2 ・ Dungeon Master's Guide 2

■2010

Player's Handbook 3 ・ Monster Manual 3

■2012

Advanced Dungeons & Dragons (1st Edition) が再版される。表紙の違う version が用意されており、収益の一部はギリヤー・ガイガックス記念財団に寄付される。

ドラゴンランス

一番初めに電源不要な RPG を世に送りだした TSR.inc 社が会社設立 10 周年記念として、全てのシナリオに毎回ドラゴンが登場することを目玉にしたゲームシナリオシリーズを世に送りだした。それまでは、短編シリーズ以外は、グレイホークの世界のみで他のオフィシャルな世界設定は皆無というような状況であった。最初に世界やベースとなるモノがあったルーンクエストとは違う成り立ちであり、汎用性を重視したシステムであった D&D は、逆になにもなかった。自由度が高い分、世界設定は、後から構築された。その中の一つである。

TSR 社のスタッフによりプレイされた内容をベースにシナリオやシステムが構築された為、小説読破してからプレイしても、まったくその通りには行かないのである。今は、紙媒体ではなくなった雑誌 Dragon に集中的にキャンペーンが行われた。画集・漫画・地図帳にムックなど出版物からカレンダーといろいろなものがリリースされた。発売当初 オリジナルのシナリオは、14 編+ショートシナリオ集 2 編、AD&D 1st シリーズ用ルールブックで構成される。

連作 14 編をまともにプレイすると数年がかかります。歌を歌いながら登場するシーンの楽譜とか、セリフまわしを要求する進行は、かなり player きびしい。優しいマスターが進行をしても全滅必死の内容である。タッスルホフのなんでも

出てくるポケットのルールもある。

第二版対応ルールブックやシナリオ集は単純コンバージョンされているのでそのままでは使用できない。当初、第一版ベースであった為、白龍は大変馬鹿だったという記述があるが、第二版ではその設定は適用できないので審判の力量が問われる。小説については、富士見書房から刊行された。雑誌 ドラゴンマガジンのゲームコーナーでは、安田均氏他に紹介された。

株式会社 新和よりAD&D 第二版ルールブックが発売され、ハードカバー 大判『<憩いの我が家>亭異聞』などファン向けの冊子も発売された。

大いに期待されたが、高額ライセンスやマーケティングの失敗。新和の破綻によってすべてが頓挫してしまう。日本ゲーマーズ協会 OBによってドラゴンランスシリーズのゲームシナリオも翻訳がほとんど終わっていたと聞くがORGを率いた大貫氏の急死 以後何も聞かなくなってしまった。小説やコンピュータゲームとしては、ある程度認知される存在ではあったが、本来のRPGとしては腰砕け状態であった。AD&D 第二版にあわせて、従来のアンサロン大陸世界ではないタラダス大陸世界がリリースされたが、アンサロンよりもさらに特殊な世界であったゆえにファンに受け入れられたとはいいいにくい状況である。

カードゲーム全盛時に ゲーム進行をカードとして行うようなゲーム ドラゴンランス 5th Age をリリースするもあまりパツとしなかったように思う。TSR 社の末期としてどうだったのか?なんともコメントしがたい状況にあるのは事実だと思う。小説がよかった分...その反動なのであろうか?

日本のファンは、小説ファンであって、電源なしのゲームをプレイしているファンは、少数派である。

Wizardry

1981年に米国のSir-Tech社からApple II用ソフトウェアとして発売されたコンピュータ・ロールプレイングゲームである。黎明期のコンピュータRPGの先駆けになったゲーム。当初のコンセプトのほとんどは、D&Dそのものに近い。

メインデザイナーはロバート・ウッドヘッド (Robert Woodhead) とアンドリュー・グリーンバーグ (Andrew C. Greenberg) である。当時大学生であった2人がD&Dをコンピュータ上で再現するというコンセプトで製作したものが本作のシナリオ#1である。そのため、行動の成功判定処理、アイテムやモンスターの名称、データ数値などに、AD&Dを影響が色濃く見受けられるとの指摘もある。D&Dにインスパイアされた創業者が親から金を借りて起業したサーテック社により発売された。(リチャード・ギャレオット自伝『ダンジョンズ アンドドリーマーズ』による) 日本では、NECのホビーパソコンに移植されて発売された。その他多くのプラットフォームに移植されて、同タイトルを冠にいただいた書籍・小説、携帯ゲームが多数存在する。故矢野先生による書籍『ウィザードリィ日記』は有名である。発売当初からのオリジナルのシリーズは、

Wizardry #1 - Proving Grounds of the Mad Overlord (狂王の試練場)

Wizardry #2 - Knight of Diamonds (ダイヤモンドの騎士)

Wizardry #3 - Legacy of Llylgamyn (リルガミンの遺産)

Wizardry #4 - The Return of Werdna (ワードナの逆襲)

の4本である。

小説などの二次創作物は大変多いが、唯一オリジナルに近いのは、多摩豊氏の正伝のみである。

『ウィザードリィ正伝 トレポーと黄金の剣 (イラスト: 結城信輝)』アспект ログアウト冒険文庫 (1994.06.22) ※絶版。原作者ロバートやアンリュー、シナリオ#4 の作者ロー・アダムズが構想していたアイデアを元に書かれている。また、日本独自の展開として、ウィザードリーTRPGなる会話型ゲームが発売となっている。本末転倒という感じである。

ロバート・ウッドヘッドは、一時期、下北沢在住であった。(すでに日本から家族をつれて北米に引っ越しし、ゲーム事業からは撤退している。) Mac 版のみまったく違う画面構成となっており、全面作り直しとなっている。

Sir-Tech Software, Inc 社は、ロバート・ウッドヘッドとノーマン・ジロテックによって設立された米国のテレビゲーム開発と出版社でした。2001年に解散。その後 Sir-Tech Canada が引き継ぎましたが、2003年後半まで活動しその後、休眠状態になりました。

公式には Wizardry 8 (2001) が最後とされます。

2009年 名称やその権利については、日本の企業に売却譲渡されたようです。

ロードス島

ロードス島は、エーゲ海南部ドデカネス諸島に属するギリシャ領の存在する島である。「ロードスの中世都市」の名で1988年に世界遺産に登録されている。アテネとキプロス島のほぼ中間、アナトリア半島から18km西方に存在する。2004年時点での人口は130,000人、内60,000人あまりがロードス市で生活している。ロードス市はドデカネーゼ地域の首府でもある。歴史的遺産が多く残る所であり、世界の七不思議の一つであるロードス島の巨像が存在したことで知られる。ロードス島の主都ロードスの旧市街には、かつて聖ヨハネ騎士団が築いた城塞都市の特質が良好に保存されており、中世ヨーロッパ都市の優れた例証として評価された。

存在するロードス島に関する書物としては、『ロードス島攻防記』塩野七生著（1985年 新潮社／1991年 新潮文庫）が有名である。塩野七生は、『文藝春秋』でエッセイを担当しており、歯に衣着せぬ論評が好評を博している。

存在のロードス島をRPGに関係ないという御仁がいるのも事実である。史実である聖ヨハネ騎士団やローマ帝国に関連していることやスティーブ・ジャクソンの汎用RPGシステムであるGURPSでの対応追加ルール集「ローマ帝国」がリリースされているので関係ないと言い切るのは、ちょっと悲しいところである。

架空のロードス島に関しては、日本のファンタジー『ロードス島戦記』

主に水野良著作の小説シリーズ、グループ SNE 製作のTRPG 関連書籍の他、アニメ、コミック、コンピュータゲームなど多岐にわたるメディアミックス作品がリリースされている。なお舞台となる「ロードス島」は、エーゲ海に同名の島が実在するが、本作品との関連性はない。

「呪われた島」ロードスを舞台に英雄たちの興亡と冒険を描いたファンタジー物語である。1985年、パソコン雑誌『コンプティーク』におけるテーブルトップ RPG の紹介記事として掲載されたのが最初である。このグループ SNE による『Dungeons & Dragons』のリプレイは、連載が進むに従い世界観やストーリー及びキャラクターへの人気が高まり、結果連載はキャラクターを替えて第3部まで続く好評企画となった。

しかしながら、当時の TSR 社の権利関係の処理については、大変高圧的かつ即訴訟という行動は、大いに物議をかもしたのも事実である。同人誌への回収警告文書の送付は、盛り上げようと活動する有志の活動をそぐ結果となった。

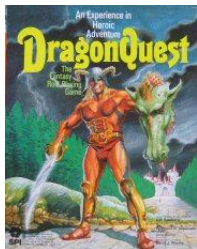
リプレイの「DM (3部では GM)」であった水野良は1988年、このリプレイを基にした小説第1作『灰色の魔女』を刊行。以降、本シリーズと『ロードス島伝説』及び『新ロードス島戦記』を合わせた小説シリーズの累計発行部数は2005年に1000万部を超えるベストセラーとなっている。

リプレイ 1 部と 2 部は『Dungeons & Dragons』を使用していたが著作権上の問題が発生したため 3 部からはグループ SNE オリジナルの TRPG ルール採用によって連載がなされている（この関係上、1 部 2 部当時の連載は単行本として刊行されておらず、後に登場キャラクターを小説版のものにしたシナリオをオリジナルルールで再プレイしたリプレイ本として発売されている）。また、そのころの日本での TSR 社のライセンスを取得していた(株)新和の高額なロイヤリティ問題と価格転嫁など、その結果は、日本でのビジネス展開失敗。ひいては(株)新和の破綻、翻訳下請けへの未払い問題等々があり、その後の展開がまったくうまくいかない現状は、嘆かわしいの一言につきる。

前世紀末 若年層の北米での趣向の変化は大きく、その結果 TSR 社の事実上の破綻と Woc 社の買収。そして、不採算製品ライン整理「ミスタラ、レーベンロフトなどの売却、classicD&D 系のリリース凍結、サポート雑誌の物理媒体での発売停止」をふくめて、供給元の変化があった。

あるいは、GNU や Linux などの freesoft、国内では青空文庫を初めとするパブリックな考え方と新たなビジネスモデル Freemium の台頭。新世紀にはいつてから、供給元を含めてビジネス環境の変化が大きく変化していると言える。その結果、D20 ライセンスあるいは二次創作を認めるライセンスが出てきたが、そのライセンスの元によるロードス島戦記の未刊行部分の復刊などは、行われていないようである。

DragonQuest



米国 SPI 社が 1980 年に発行したファンタジー・ロールプレイングゲーム (tabletopRPG)である。その後著作権は TSR 社 (現ウィザーズ・オブ・ザ・コースト) に移っている。Apple II世代が元気だった前世紀当時、パーソナルコンピュータやファミリーコンピュータの普及はまだ

まだだった。一時 新和 (Dungeons & Dragons の日本代理店でもある。すでに破綻している。) が日本語版の翻訳を企画したが、エニックス側がすでに国内でメジャータイトルであった「ドラゴンクエスト」の名称の使用を認めず、TSR 社との交渉がまとまらずに企画を断念したという経緯がある

その後、破綻した SPI 社の権利を TSR 社が購入し、TSR/SPI ブランドで販売。ソフトカバーの第三版については、合本にし一冊にして販売した。その後、正式サポートをしているとはいいいにくい状態であった。

D&D サイクロペディア販売の前後、新規市場開拓を目指した TSR 社がミニチュア付スタートキットが発売。その時点での D&D BASIC セット ルールブックは、バイダー式の巨大なボックスであった。その廉価版のような D&D

DragonQuest(Item Code: #1100)が発売になっている。このことを考えると TSR 社は商品名だけがほしかったとしか思えないのである。

21 世紀の現在において、エニックスのドラゴンクエストが北米地域で DragonQuest を使用している事実を考慮するならば、なんらかの許諾行為があったと考えられる。

また、この最初の「ドラクエ」を知る人間はマニアに限られている。

40 代前後のデブな独身のおっさんに「ドラゴンクエスト」の話振ってみるといい、「ああ、SPI のだろ、僕も初版を持っているんだがねえ」と必ず、嬉しそうに答えが返ってくる。技能制を取り入れるなど、後のドラゴンクエストよりも先駆的な試みがあったとされている。でも、小学生向きじゃないので普及しなかった。ゲームシステムや世界設定については、新紀元社刊行の「RPG ワールドガイド」大野正史と怪兵隊を参照されたい。

出典: へっぽこ実験ウィキ『八百科事典 (アンサイクロペディア)』

入門書には何がよいか？

石川県での活動状況他

現在よいのは、ホビージャパン社の刊行の D&D ゲームガイド『月曜日は魔法使い』がよいでしょう。すでに入手は困難ですけど

雑誌タクティクスが創刊された時 金沢では『サークル おれんじ猫』が産声をあげてからすでに四半期が過ぎ、サークルは世代交代がうまく行かず、事実上解散状態。当時の本田会長は、現在 東京カデークラブの会長に就任しているとか。あれから RPG マガジンが創刊、そしてカードゲーム雑誌に移行。(現在 カードゲーマー誌になる。)

金沢の唯一のショップだった加藤模型の閉店と店主の逝去。そして、TSR社の雑誌 DRAGON を扱っていたブック宮丸がそれなりの品揃えだったのは、過去のことのようです。(フューチャービー金沢店はすでに閉店しています。) 在庫は、笠市店に集約しているようです。H社のTCGの日本総代理店の権利問題で有名カードゲームの代理店契約が失効。そして、よくわからないゲーム専門雑誌が創刊。さらには、在京のライター諸氏の集合と解散いろいろと業界の人たちも変化しています。金沢の旧世代は、すでに伝承の域になってしまった感じがあります。

以下の webpage に北陸の TRPG サークルの活動状況をまと

めているので参考になるでしょう。

白山市の個人の方が孤軍奮闘している webpage のようすが～。

☆北陸TRPGガイド☆

<http://www.asagaotv.ne.jp/~dasosiso/index.html>

新潟・富山・石川・福井のTRPGコンベンション情報
サークル活動のグループや連絡先も掲載しているようです。

初心者のための D&D を安価に楽しむ方法

入門者用の Dungeons & Dragons 第4版 スターター・セットの購入、それでも費用がかかります。できれば、人数分ぐらいはサイコロのセットを揃えておくとよいでしょう。ましてや、ルールブック以外にいろいろと小説を購入し、文化や歴史などの専門書まで手を出すと意外と費用がかかります。審判をやろうとするとその読書量は飛躍的に増加します。internet でうまく使うと比較的に安く情報をかき集めることができます。(ただし英文です。) 英語の文献を精力的に日本語解説している強者がいるのも事実です。大変頭が下がります。ゆえに web に公開されている無料のドキュメントを入手する。

英文だとうまく調べるとかなりの文献を入手することはできます。プレイヤーは、自分の為のルールブックを購入しないといけませんが、サマリーで簡単にプレイするには、無料のものである程度は、しのぐことができます。

<http://www.hobbyjapan.co.jp/dd/>

製品紹介、サポート記事、ルールの訂正が掲載されています。簡単なモンスターの紹介記事があるので助かります。また、イベントの案内をしているサイトもありますので参考になると思います。しかし、裏日本で表立って活動されているとこ

ろは、皆無というべきかもしれません。シナリオは、簡単に入手されると審判の立場がなくなってしまう。しかし、woc社と国内代理店の販促のための制度をうまく使えば、ルールブックやシナリオの優遇処置があるのでその制度を使う方法がいいかもしれない。

<http://www.wizards.com/wpn/>

「ウィザーズプレイネットワーク (WPN)は店舗とイベント主催者が活気あるプレイヤーコミュニティを育て、維持するために必要な情報やイベント用配布物、サポートを提供いたします。」とあるのでやる気のある方は、登録してみるとよいだろう。woc社の販促活動をうまく使う為のノウハウは以下のサイトを読んでいただければと思います。

[D&D]D&D エンカウンター・ポータル wiki

<http://d.hatena.ne.jp/D16/20110804/p1>

ようこそ D&D エンカウンター・ポータルへ

<http://dndencjpn.nekohaus.net/>

しかしながら、金沢で唯一のゲームのできるお店はもうなくなってしまったのです。それでもできるかぎり安価にプレイをしたいのであれば、しんどいのは、審判が追加設定やいろいろと購入して読破しないといけないわけだが、英文ではかなりの文章が、公開遊戯財団によって公開されている。

<http://www.opengamingfoundation.org/>

無料のドキュメントを web から参照することによって安価にすませることが可能です。

http://www.dandwiki.com/wiki/Main_Page

ルール全般などについても解説をしている。

無料で公開されている文章は

General Rules、Basics、Character Rules、Ability Scores、Alignment、Armor Class、Carrying Capacity、Condition Summary、Death、Dying & Healing、Saving Throws、Combat、Combat Basics、Combat Actions、Combat Modifiers、Turning & Rebuking Undead、Vision、Exploration and Environment、Environment、Breaking Items & Attacking Objects、Movement、Hazards & Objects、For Players、Character、Basics、Races、Classes、Character Options、Skills、Feats (under construction)、Equipment、Money、Goods & Services、Weapons

とここまで公開されているわけですが、審判用の文章は極めてすくないのである。

4th edition については、もう少し記載されている。

米国オフィシャル本家本元のサイト

<http://www.wizards.com/DND/>

The Dungeons & Dragons 4th Edition Game System License

<http://www.wizards.com/default.asp?x=d20/welcome>

が参考になるでしょう。

国産のゲームに比べると費用面をふまえて、敷居が高いのは事実です。しかし、一番古いゲームであり、意外と愛好者も多いのは事実です。国産の幾多のゲームやコミックのベースになっている膨大な資料の多さは比べ物になりません。

TRPG SNS

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~trpgbank/sns.html>

TRPG の情報とプレイ機会をシェアするための SNS にて活発に議論が行われています。

mixi.jp

金沢での TRPG セッションを行うコミュニティが活動しています。

~~プレイする為のサイコロは、ブック宮丸 笠市店で取扱をしております。~~

*2012 年 5 月末に閉店

Retro clone

復刊どっどこむの昔のルールブックを再版してほしいという人がいる。

あれを見ると、今の版元は、最新版を買ってほしいので古い版を出版する理由はないなと思いつつ、古いルールブックに固執する我が輩のような人似たようなことを考えている人はやはりいるんだなと思った次第である。そこで、登場したのが Retro clone と呼ばれる互換のあるルール達である。基本的には、無料の文章である。

Retro clone ではないが、3.5 版を元にした
Pathfinder Roleplaying Game

<http://paizo.com/pathfinderRPG>

<http://www29.atwiki.jp/prdj/pages/1.html>

Pathfinder については、日本語版が有志によって web page で公開されている。頭が下がります。

Basic Fantasy Role-Playing Game (1st & 2nd Editions)
d20-Based Retro Game

<http://www.basicfantasy.org/>

Microlite20

D&D 3.5e - Rules-Lite

http://www.microlite20.net/index.php?title=Main_Page

Old School Reference and Index Compilation (OSRIC) v2
(based on 1st edition Advanced D&D)

<http://www.knights-n-knaves.com/osric/>

Labyrinth Lord

Basic/Expert D&D

<http://www.goblinoidgames.com/labyrinthlord.html>

Dark Dungeons

now retro-clone of Rules-cyclopedia

<http://darkdungeonsblog.wordpress.com/>

このコンポーネントは、他に二つリリースになっているが、
まったくの非互換である。

Microlite74

D&D 0e - Rules-Lite

The Shadow of Yesterday

http://crngames.com/the_shadow_of_yesterday/

D&D ぽいものでファンが作ったようだが

WINNER! Best Free Game of the Year, 2004 Indie RPG
Awards

ファンが創造したもので日本には、Sword world というゲームがあります。

Swords and Wizardry

(based on the original 'white box' D&D) D&D 0e

<http://www.swordsandwizardry.com/>

lulu.com などの電子出版や無料pdfで配布しているものもある

Zefrs (based on TSR's Conan RPG)

<http://www.midcoast.com/~ricekrwc/zefrs/>

<http://rpggeek.com/geeklist/49184/item/1120331#item1120331>

331

より

Software tools

DM の負荷軽減と play の表現向上各種 tool が増えてきている。スタックウェアがいろいろとあったころから比較すると非常に豊かになってきており、また無料のものも非常に増えてきている。

地図作成、initiative 戦闘序列処理、サイコロ判定の効率化ツール等々

iOS アプリは、さらに大量のルール、呪文集の電子書籍もリリースされている。

Virtual Tabletop

紙と鉛筆を使った board game は、personal computer と network infrastructure を使った距離を考慮しなくてもよい play style に変化してきている。Woc 社も 2010 年ぐらいから soft 開発をしていたが、結局は、日の目をみなかったようである。

特段と偏見によって、とりあえず分類してみた。

■ fantasy Grounds



専用 client package software が server を介して、接続するというもの。有料で高価な環境である。高額である分いたれ

りつくせりである。サイコロがリアルに転がる動画とか充実しています。

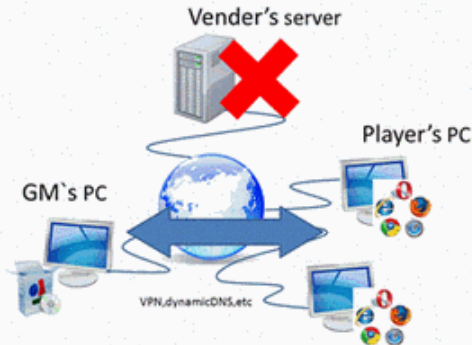
■ RPtools



接続方法は、独自に用意しないといけないが、専用 package にて接続するというもの。network を介せず、紙と鉛筆の代わりとして使用することができる。

国産のツールと比較すると機能は豊富である。

■ ScreenMonkey



接続方法は、独自に用意しないとイケないが、playerは、webが使える personal computerがあれば、利用できるというもの。screenmonkeyは、webserver機能によって、プレイヤーの、client PCは、browserのみで利用できる。

chat+画面共有が主な機能ではあるが、追加で画面管理、キャラクター管理、サイコロという機能を付加している。汎用のツールで、communication tool(音声・文字・ビデオ)と画面共有ができれば、最低限のものを実現できると思うのである。

web serviceに依存することはかなり危険ではないか?と思えてしまうのは、よく最近老舗のweb pageがよく閉鎖になるからである。TSRの目録siteが消滅していたり、このご時世

消滅するのも当たり前って感じがする。

VT PROGRAMS FOR RPGs

Below are links to every virtual tabletop program I could find, both free and commercial, so you can judge for yourself which tool best fits your needs.

Commercial Programs:

■ Battlegrounds: RPG Edition

That's what the rest of this site is about. I'm just including BRPG to make the list complete.

<http://www.battlegroundsgames.com/nutshell.html>

■ Fantasy Grounds

Windows-only. Many people like the look and feel of this app, and the 3D dice rolling.

<http://www.fantasygrounds.com/>

鋼鉄王冠社の経営者達が立ち上げたいたれりつくせりで必要されるほぼすべての機能があるがかなりの費用が発生する。これを使っている審判は、日本で最低二人はいるようです。無駄にリアルなサイコロツール。chat+画面共有 キャラクター管理にモンスター管理ツール。充実している分、license 費用がかなり高額です。

■KloogeWerks

Java-based. Steep learning curve, but powerful.

<http://www.kloogeinc.com/>

■ViewingDale

Windows-only. Great zoom feature.

<http://www.viewing.ltd.uk/cgi-bin/viewingdale.pl?category=main&sx=1280>

■D20Pro

Java-based, 2-week free trial license.

<http://www.d20pro.com/d20/index.php>

■ScreenMonkey

Only the GM must pay. Players play free, using their web browser. The GM app is Windows-only. A Lite version is available for free.

<http://www.nbos.com/products/screenmonkey/screenmonkey.htm>

軽量版は、log 管理を含めて、機能が削減されている。一時期日本語パッチが提供されていたようだが、今はどこにあるのか?不明です。

GRiP

No longer developed, but some people still use it and there seems to be a user community that supports it.

Note: Link updated for GRiP v4.

<http://www.rpgrealms.com/grip>

iTabletop Pandoren (v2)

Browser-based (requires MS Silverlight, Adobe Flash, and 1 GB RAM) Windows or Mac OS X. Features built-in voice chat, and streaming video/webcam support.

<http://www.itabletop.com/>

EpicTable

Windows-only. Not yet released (still in beta).

<http://www.epictable.com/>

D&D Game Table

Windows and Mac OS X. Not yet released (still in beta).

[http://community.wizards.com/go/thread/view/75882/26286405/The Dungeons Dragons Virtual Table](http://community.wizards.com/go/thread/view/75882/26286405/The_Dungeons_Dragons_Virtual_Table)

RPG Table

Mac OS X-only (v10.5.8 or greater). No online play in v1.0.

<http://www.codechemistry.com/>

weRole

Subscription-based. Features built-in webcam and voice

chat.

<http://www.werole.com/>

Scene Grinder

Runs in browser. Subscription-based.

<http://www.scenegrinder.com/>

3DVT

In beta.

No system requirements publicly available.

<http://myvirtualtable.com/>

3D Virtual Tabletop

Free while in beta, but will be subscription-based when released.

Runs in a browser. Android app also available.

<http://www.3dvirtualtabletop.com/index.html>

Roll20

Browser-based.

Free while in beta, but will eventually charge for storage space and artpack content.

<http://roll20.net/>

Free Programs

OpenRPG

Probably has the biggest user base of any VT app.

<http://www.rpgobjects.com/index.php?c=orpg>

OpenRPG+

This site hosts the development version of OpenRPG.

http://rpg.wikia.com/wiki/Installing_OpenRPG

MapTool Java-based. Developers are actively enhancing this program regularly.

<http://www.rptools.net/index.php?page=maptool>

無料 site は、資金を浪費するだけなので、維持することは大変なのです。確認できなかった site は×表記としています。

× Gametable Java-based.

<http://gametable.mornproductions.com/Index>

使用できない 内容を確認とれず。

× Online Pen & Paper World Windows-only.

<http://www.opnpw.com/>

新規参加不可能状態 内容を確認とれず。

× Tri Axe Dungeons & Dragons Chat Windows-only.

<http://www.triaxe.co.uk/>

メニューは、あってもデータ消失 内容を確認とれず。

× Interactive Dungeon Windows-only

<http://www.big12inch.com/id/>

使用できない 内容を確認とれず。

D20Map Windows-only. <http://bd20map.runboard.com/>

Dave's Flash Mapper Possibly still in development.

<http://www.csgmedia.com/files/david/fm/>

RPG Manager Windows-only. v2.0 is in development, and screenshots for it are now available .

<http://www.rpgmanager.net/Home.htmPlaying>

Fields Java-based.

<http://gdiac.cis.cornell.edu/Projects/2006sp/PlayingFields/index.html>

Dices Windows-only

<http://sourceforge.net/projects/dices/files/dices/>

RPGui Windows-only. The site is no longer available.

<http://www.togamario.com/>

Battle Map v2.0 Flash-based, runs in your browser.

http://www.incend.net/treasure_trove/index.htm

RPG Tonight Runs in your browser.

<http://www.rpgtonight.com>

Dungeon Helper Windows-only.

<http://dh.abomb.info/index.php>

Avalomhilly Windows-only.

<http://www.avalomhilly.20m.com/>

TTopRPG 2.0 Windows-only.

<http://www.gamemodel.com/TTopRPG/index.htm>

Rolistik Windows & Mac OS X. In French.

<http://rolistik.free.fr/>

Virtual Tabletop Windows-only. Note that the link below is a download link, not a website.

http://64digits.com/users/brighteyes/Virtual_Tabletop_v0.6.zip

Virtual Game Table (VGT) Windows-only.

<http://www.siliconstorm.net/vgt/vgt.html>

Irony Games' MapMagical Encounter Editor Java-based, runs in a web browser.

<http://pages.infinet.net/pdclarke/mmee/index.html>

Map Maker (beta)

MS Silverlight app, runs in a web browser.

<http://dnd.gudjonhrafn.com/mm/>

Qex

Windows-only.

<http://www.skyfire.ca/qex/>

Masterplan

Windows-only. No online component

<http://www.habitualindolence.net/masterplan/>

Taulukko

Donation-ware.

<http://www.taulukko.com.br/>

Infrno

Unclear whether this is free for good, or free while-in-beta. Windows & Mac OS; has video-conferencing feature.

<http://infrno.net/base/welcome>

RPGrounds

Unclear whether this will free when released, or just

while-in-beta. Will supposedly be a 3D VTT.

<http://www.rpggrounds.com/>

Live-Tabletop

Not even alpha yet. Will support RPGs and boardgames

<http://code.google.com/p/live-tabletop/>

Fabletop (formerly known as Tabletop Quest)

Browser-based. Open beta. Unclear whether this will free when released, or just while-in-beta.

<http://www.tabletopquest.com/>

Diavida VTT Runs in a web browser. <http://diavida.com/>

MyRPG Browser-based. Unclear whether this will free when released, or just while-in-beta.

<http://myrpg.ca/>

tabledice

Runs in a web browser (Firefox or Chrome).

<http://tabledice.com/>

Discontinued, Abandoned, or Unsupported Programs:

WebRPG

<http://www.webrpg.com/gamesystem/>

Note: The link above seems to be dead, which to me indicates that this is a discontinued product, but I've found a mirror site here, in case you still want to check

this out. Tabletop Mapper Windows-only.

<http://www.tabletopmapper.hpg.ig.com.br/>

Interactive Adventures Wizard of the Coast pulled the plug on this when they revoked their D&D license, so these are no longer available as of November 30, 2006.

<http://www.codemonkeypublishing.com/>

GhostOrb

There was never an official announcement that this was cancelled, but the website homepage hadn't been updated since December 2005, and now the site is gone entirely.

<http://www.ghostorb.com/>

Vellum An abandoned project that looked promising.

<http://vellum.berlios.de/>

Battle Aide Free. Windows-only.

<http://www.drakevision.com/index.html>

DNDMapper Theoretically in development, but no updates since December 2005.

<http://www.eeconsulting.net/tmp/>

Online RPG Battle Tool Presumed to be an abandoned project. Probably Windows-only.

<http://home.comcast.net/~r.soult/>

V-FORT

Windows-only. The site is no longer available.

<http://v-fort.org/BattlePawn> The site is no longer available.

<http://www.battlepawn.com/>

RolePlayingMaster

Windows-only.

<http://www.enworld.org/RolePlayingMaster/>

YumiChat Windows-only server, Windows and Mac clients.

<http://www.rabidcomics.com/yumichat/index.html>

TRIS

Text-based only. Note: This site seems to no longer be available.

<http://trisrpg.bronzeforge.com/index.htm>

AjaxVTT

Linux-only. Not for the technically-challenged.

<http://linux.softpedia.com/get/GAMES-ENTERTAINMENT/RPG/AjaxVTT-18260.shtml#>

Tabletop Mapper

Windows-only. Note: This site is no longer available.

<http://www.tabletopmapper.hpg.ig.com.br>

GlitterComm Windows-only.

<http://glittercomm.com>

RPGWorkbench Runs in a web browser.

<http://rpgworkbench.blogspot.com/2007/08/content.html>

Virtual Battlemat

Runs in a web browser. Note: This site is no longer available.

<http://virtualbattlemat.com/>

BYOND

Tabletop Gaming Presumably still in development, but no updates since August 2005.

<http://shadowdarke.byondhome.com/tt/intro.html>

MAPPING SOFTWARE

Dundjinni

Produces beautiful maps. Highly recommended.

Note: This software cannot currently be purchased, due to the DJ Store being offline.

<http://www.dundjinni.com/>

ProFantasy

The makers of Campaign Cartographer 2 & 3, and other mapping programs.

<http://www.profantasy.com/>

AutoREALM

<http://sourceforge.net/projects/autorealm/>

RPGMapMaker

Mac-only

<http://fmteau.club.fr/rpgmapmaker/rpgmapmaker.htm>

MapCrafter

<http://www.empowergames.com/>

DungeonForge

http://www.dungeonmapping.com/df/public_html/

MapMaker

<http://www.demonspawn.net/games/map/default.htm>

zMapper

<http://www.zuggsoft.com/zmapper/zmapperinfo.htm>

Benny's Dungeon Map Maker

<http://www.sev.org/members/bmazur/dndminis/dmm.html>

StoneSword.com

Free mapping software that works right in your browser.

<http://www.stonesword.com/>

Dungeon Tile Mapper

<http://www.wizards.com/default.asp?x=dnd/dnd/20061121t>

Dungeon Crafter 3

<http://www.dungeoncrafter3.com/product.php>

Hexmapper

Registration to the Yahoo Group is required to download the program.

http://games.groups.yahoo.com/group/Hexmapper_Haven/

HexDraw

<http://www.hexdraw.com/>

Hexographer

Free and commercial versions available.

http://www.inkwellideas.com/roleplaying_tools/hexographer/

Dungeon Demon

Coming soon. Windows-only.

<http://www.rustyaxe.com/apps/dd/index.php>

Grumble Mapper

Donation-ware. Cross-platform (Adobe AIR).

<http://evanjacover.com/grumblemapper>

Grid Mapper

Donation-ware. Windows-only.

<http://www.superdan.net/gridmapper/>

Dungeonographer

>From the developer of Hexographer.

Free and commercial versions available.

<http://www.dungeonographer.com/>

Dungeon Painter

Free; runs in a browser.

<http://pyromancers.com/dungeon-painter-online>

Ortelius

Professional cartography/mapping software.

Mac OS X only.

<http://www.mapdiva.com/ortelius/>

FREE ART

RPGMapShare.com

A highly recommended repository of maps and artwork for RPGs. Be sure to set the Usage Rights for any artwork that you upload here, or it will be promptly deleted.

<http://rpgmapshare.com/>

Dundjinni Forums

An extremely friendly and helpful community that posts new artwork daily. You might even be able to request a specific prop that you need, and have it a few days later. All the artwork posted on these forums is free to download for personal use, and much of it can even be used

commercially.

<http://www.dundjinni.com/forums/default.asp>

Dundjinni's Free Download of the Week
Discontinued.

<http://www.dundjinni.com/art/dotw.asp>

ROLEPLAYING AIDS

Hale Gaming

The new home of the CSUAC art archives (a treasure-trove of free artwork originally compiled from the Dundjinni forums, but perfect for use with BRPG).

<http://www.halegaming.com/>

CrystalBall3

Mac-only.

<http://homepage.mac.com/crystalballmac/>

PCGen

RPG character generator & maintenance program

Java-based (multi-platform).

http://pcgen.sourceforge.net/02_overview.php

RPG Patsy

A replacement for your pencil and paper character sheet

Java-based (multi-platform).

<http://www.rpgpatsy.com/>

Roleplaying Tips

A weekly newsletter/e-zine.

<http://www.roleplayingtips.com/index.php>

DA: The Roleplayer's Digital Assistant

A game-independent software toolset (Windows-only).

<http://www.mjhkstudios.com/DA/Frameset.htm>

Map Mage

Lots of different software tools (some free, most for sale, Windows-only).

<http://www.mapmage.com/>

Turn Watcher

An initiative tracker for GMs (Windows and Linux only)

<http://www.turnwatcher.com/>

On-Screen DM Screen

A handy online reference tool for d20 System.

http://www.systemreferencedocuments.org/35/sovelior_sage/toolsScreen.html

Arr-Kelaan Software's RPG Tools

Lots of different software tools (free, for Windows 95 only).

<http://home.paonline.com/zaikoski/ak/TOOLS.HTM>

Treasure Tables

Advice, tips, ideas, and resources for GMs.

<http://www.treasuretables.org/>

VOICE CHAT APPLICATIONS

Using these can significantly speed up play of online game sessions, but all users will probably need to have a broadband internet connection. Most of these are available in both Windows and Mac versions.

とりあえずスカイプは定番でしょう。

Skype

Also supports video conferencing (which is not free)

<http://www.skype.com/>

Ventrilo

Great push-to-talk feature

<http://www.ventrilo.com/>

Gizmo

<http://www.gizmoproject.com/>

Ineen

<http://www.ineen.com/>

YakForFree

<http://www.yak.com/>

TeamSpeak

(Note: the unofficial and unrelated "TeamSpeex" Mac client is still in beta)

<http://www.goteamspeak.com/>

Dolby Axon

Supports surround sound (but not in the free client, which is good for up to 5 users)

<https://axon.dolby.com/>

Richard Garriott

亜米利加のゲームデザイナー。ロード・オブ・ブリテッシュ その人。父親は、宇宙飛行士。自身も宇宙に上がったことがある。

参考文献ほか

<http://rpggeek.com/>

<http://www1.free-clipart.net/>

<http://en.wikipedia.org/>

表紙はファンタジーの項より利用させていただきました。